

AKY48 公共圏

- アイドルとオタクがつくりだす空き家プロジェクト -

社会性と公共性を持った空き家型アイドルグループ AKY48 - 空き家48 -

AKBってどんなに偉い政治家よりも社会性と公共性を持っていると思うんです。きっと社会を変えるようなすごい力を秘めている。それはシステムで働いているから。そのシステムはアイドルとオタクで作られている。ならば新しいシステムを提案しよう。それも社会性と公共性をもった役割を果たすものにしよう。拠点は空き家だ。まち中の散らばっている空き家に「アイドルとオタクがつくりだす空き家」というシステムを与えることで、空き家は聖地として機能していくだろう。空き家同士のコミュニティネットワークなんかができあがるかもしれない。オタクは空き家を聖地巡礼し、このまちを隅々まで知るようになるだろう。これは空き家にアイドルを挿入することで、オタク達が社会と接続できるシステムをつくり出す提案。この聖地巡礼システムは徐々に規模を拡大し、日本全体を動かすようなシステムになるのではないだろうか。

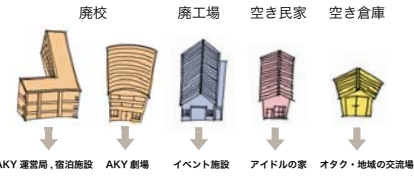
AKY48 公共圏のしくみ

1. 発足地は東北



東北の産家から未来を考える。日本の高度成長を支えた東北。これといった産がない代わりに押しつけたのは原発だった。その原発は爆発した。農業でも工業でもダメ。残るは日本が生んだ文化。次のビジョンは東北だ。きっと東北復興の役割も果たすだろう。

2. 空き家の定義



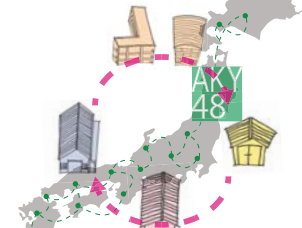
日本中にある空っぽの建物は家だけじゃない。人間を包み込むような小さなスケールの建物から人間を超えた巨大なスケールの建物。そんな同スケールを持った建物を空き家と定義する。スケールが小さくなるにつれてより密なコミュニティが生まれていくプログラム。ここにはアイドルと内外のオタクの交流する場、地域住民との出合いの場などがある。

3. 神7は空き家を持つ



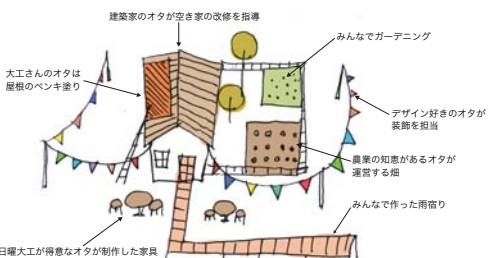
総選挙で選ばれた上位7人-神7は1人1軒の空き家を持つ。アイドルが介入した空き家は聖地として、アイドルとオタクの出会いの場として機能する。オタクに社会と繋ぐシステムを提供することで空き家は社会性と公共性を生み出す聖地として生まれ変わる。

4. 聖地巡礼



オタクはまち中に散らばった聖地を巡礼する。聖地を巡ってアイドルだけでなく住人達とも出合い、コネクトしていきながらこのまちを隅々まで知るようになる。このシステムはやがて全国へと展開し、東北を起点として日本全体を動かすような社会構造となっていく。

オタクが社会と接続できるしくみ



推すこと=サポートすること
空き家はアイドルとオタクが協力して作り上げていく。オタクは押しメンの空き家を全力でサポートしていく。ある人は空き家の改修を指導し、ある人は家具をデザインする。庭で畑を耕す人。屋根にペンキを塗る人。外観を装飾する人。内観を装飾する人。みんなで掃除とガーデニング...日々更新していく空き家。オタクが空き家と接続できるしくみを作り、社会と接続できる回路を多く設ける。

公共圏がつなぐネットワーク

①アイドル×オタク

- アイドルの家を共につくる喜び
- アイドルがつなぐ人と人
- 趣味としての労働
- オタクの住み家

②アイドル×地域

- 地域イベントに出演
- AKYカフェの出店
- 見守り隊の結成

③オタク×地域

- 住民のサポート
- オタクと住民の交流
- オタクが進んでバブ役に

空き家にならないしくみ

アイドルはいつの日か卒業する。
アイドルが卒業したら2つの選択をすることで空き家にならないしくみをつくる。
Type1. 聖地としてアーカイブ
この家は過去の思い出のアーカイブであり、アイドル自身の生活のアーカイブだ。巡礼のたのみの聖地としてアーカイブしていくことで、この家は空き家ではなく思い出の場所として第二の道を歩む。
Type2. アイドルとの決別
卒業は思いが、アイドルと決別してこの家を売却しよう。取れた空き家はオタク達の改修で新しく生まれ変わった。また、オタクも改修に関わったこの家が、人が住む流れに受け込むことは嬉しいことではないだろうか。
1. 残す 2. 手放すの均衡を保つことで地域としての矜持を保ち、作り物としてのアイドルのまちはならない。

